

2025年7月31日

各 位

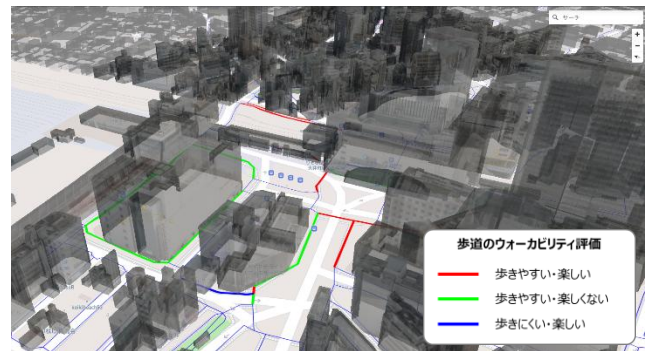
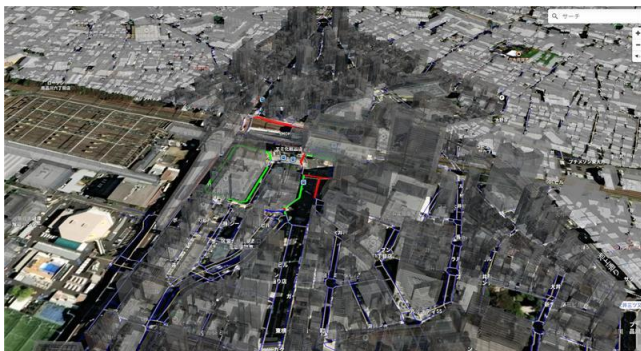
東京都港区港南四丁目1番8号
会社名 アドソル日進株式会社
代表者名 代表取締役社長 篠崎 俊明
コード番号 3837 東証プライム市場
問合せ責任者 取締役管理本部長 寺村 知万
(TEL 03-5796-3131)

東京都「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」支援プロジェクト 「デジタルエリアデザインの共創 in 大井町」に参画

～慶應義塾大学との産学連携「GIS×IoT まちづくり」に基づく「スマートシティ支援プラットフォーム」を開発～

アドソル日進株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 篠崎俊明、以下：アドソル日進）は、2017年から慶應義塾大学 SFC 研究所 厳網林研究室と「GIS×IoT まちづくり」をテーマとした共同研究を推進しています。

本共同研究の一環として、このたび、東京都「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」の令和6年度支援プロジェクトに選定された「デジタルエリアデザインの共創 in 大井町」に参画し「スマートシティ支援プラットフォーム」の開発を担当することとなりましたので、お知らせいたします。



慶應義塾大学 SFC 研究所 厳網林研究室と共同開発中の「スマートシティ支援プラットフォーム」（「道」の歩きやすさを評価し、GISを活用したプラットフォーム上で表現した例）

出典：3D 都市モデル（Project PLATEAU）品川区（2024 年度）

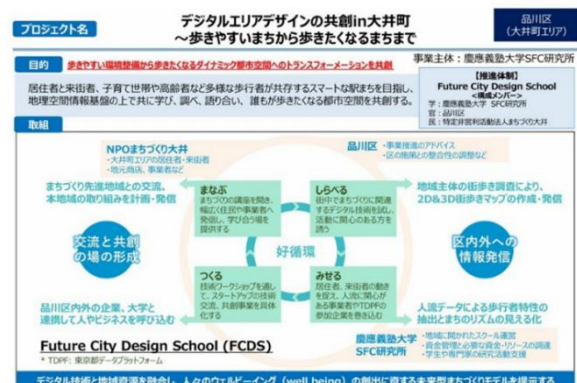
（一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 \$ 都市局 \$ 3D 都市モデル（Project PLATEAU）品川区（2024 年度） \$ データセット）

1. 「デジタルエリアデザインの共創 in 大井町」について

（令和6年度「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」採択事業）

本プロジェクトは、健康的な暮らしや賑わいの創出、脱炭素への貢献などの複合効果をもたらし、まちづくりの手がかりとして期待されている「ウォーカビリティ（歩きやすさと歩く楽しさを評価する指標）」に着目し、街の現況及び日々変化する情報を 2D/3D デジタルエリアマップに統合することにより、スマートでウォカブルな未来型まちづくりモデルの提示を目指す取組みです。

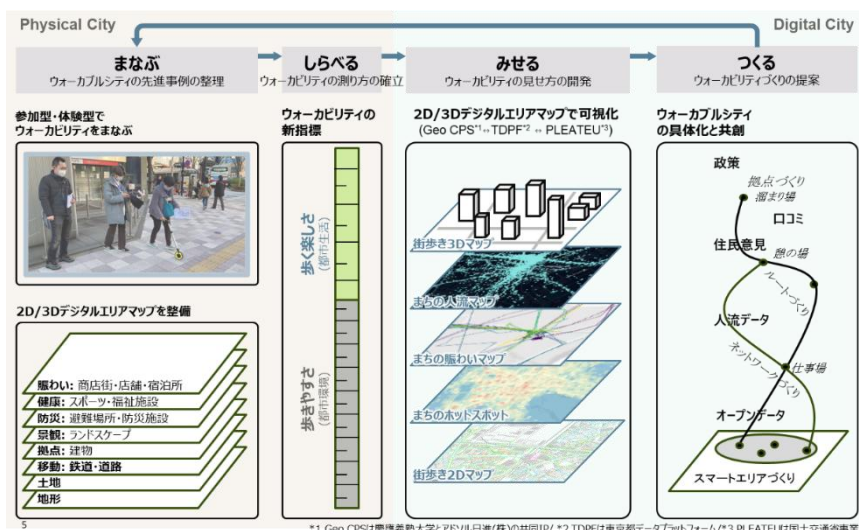
SFC 研究所「みらいのまちをつくる・ラボ」にフューチャーデザインスクール（FCDS）を開講し「①まなぶ」「②しらべる」「③みせる」「④つくる」という4テーマにおける産官民のインタラクティブな活動を通じ、誰もが歩きたくなる都市空間の共創を進めます。



出典：慶應義塾大学 SFC 研究所
「みらいのまちをつくる・ラボ」

アドソル日進は、「②しらべる」「③みせる」の領域で、これまで厳研究室との共同研究で培ったノウハウ及び「GIS×IoT まちづくり」のプラットフォームをベースに、人流など未来型まちづくりに必要な情報をデジタル化した、スマートシティ支援プラットフォーム開発とサービス提供を担当します。

出典：2025年3月28日
第6回 Oimachi Research Forum 資料
「デジタルエリアデザイン in 大井町」、厳網林作成



2. プロジェクト概要

名 称	デジタルエリアデザインの共創 in 大井町～歩きやすいまちから歩きたくなるまちまで
代 表	慶應義塾大学環境情報学部教授 厳網林
推進メンバー	慶應義塾大学 SFC 研究所、品川区、NPO まちづくり大井
期 間	2024年10月1日～2027年3月31日
概 要	ウォーカビリティーは、健康的な暮らしや賑わいの創出、さらには脱炭素への貢献などの複合効果をもたらし、まちづくりの手がかりとして期待されています。 本プロジェクトでは、「みらいのまちをつくる・ラボ」にフューチャーデザインスクール（FCDS）を開設し、2D/3D デジタルエリアマップ技術を導入します。 これを拠点に、まちの変貌を捉え、地域主体でスマートなウォーカブルシティを共創し、未来型のまちづくりモデルを提示します。

3. 東京都「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」について

東京都は、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、サービスの質・QOS を向上させることで、都民が質の高い生活を送ることができる東京版 Society5.0 である「スマート東京」の実現を目指しています。

その取組みの一つとして「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」を採択、支援プロジェクトを通じ、地域課題解決や住民ニーズの充足など、まちのスマート化に関する取組みを推進しています。

支援プロジェクトには、各プロジェクト実施にかかる経費の支援に加え、プロジェクトが円滑に進むよう、知見やネットワークの提供、取組みの発信などのサポートがあります。

■ 関連 URL

- ・東京都[「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」/SMART TOKYO CHIKI PROJECT](#)
- ・東京都プレスリリース（2024年10月21日付）
[「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」支援プロジェクトを選定しました！」](#)
- ・SFC 研究所 [フューチャーシティデザインスクール\(FCDS\)コンソーシアム](#)

4. 慶應義塾大学 SFC 研究所 厳網林教授のコメント

アドソル日進とは、これまで「GIS×IoT まちづくり」をテーマに、住み続けられるまちをテーマにしたプロジェクト、都市の食・エネルギー・水の消費に伴う CO2 の排出評価及び可視化を支援するプラットフォーム開発など、様々な取組みを共同で進めてきました。

今回、「ウォーカビリティー」をテーマに、スマートシティに求められるマルチモーダルの地理空間情報を統合的に活用するプラットフォームの開発を進めています。このプラットフォームを利用して、基盤地図や歩行者ネットワークなどのハードウェアと、まちの魅力スポット（PoI）や日々の人流を分析することができます。

アドソル日進が長年培ってきた GIS・IoT を中心とした技術力・知見に期待しています。

5. アドソル日進の今後の取組み／展望

アドソル日進は、中期経営計画「New Canvas 2026」で掲げた成長事業のひとつ「スマートインフラ／ライフ」の実現に向け、「GIS：地理情報システム」「IoT 情報」による空間情報の活用を中核としたソリューションを展開しております。

今後は、共同研究で得た知見に GeoAI 技術による分析等を加えることにより、未来のスマートシティの基盤を支える「スマートインフラ／ライフ」関連ビジネスを推進していく方針です。

■ アドソル日進と慶應義塾大学 SFC 研究所 蔵研究室との主な取組み

- ・ [慶應義塾大学と「GIS と IoT の融合」に関する共同研究と「GIS×IoT プラットフォーム」の共同開発のお知らせ](#)（2017 年 9 月 7 日）
- ・ [国際共同研究：「郊外まち住環境センシングプロジェクト」に参加中](#)（2019 年 10 月 23 日）
- ・ [【SDGs】アーバンデータチャレンジ 2020 で「優秀賞」!](#)（2021 年 4 月 9 日）
- ・ [「地理情報システム学会 GeoAI 分科会セッション」にて講演](#)（2023 年 10 月 17 日）
- ・ [【脱炭素の取組み】KEIO TECHNO-MALL 2024（慶應科学技術展）で共同開発ソリューションを展示](#)（2025 年 1 月 14 日）

以上

報道関係者 お問い合わせ先：

アドソル日進株式会社 経営企画室 広報・IR 担当

TEL（代表）：03-5796-3131 e-mail：ir@adniss.jp

※ 本リリースに記載された内容は、**発表日時点の情報**です。その後、サービス提供状況や仕様などが変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。なお、本文中において TM、®マークの一部を記載しておりません。